

第 95 号

お茶の水女子大学学報

昭和 58 年 11 月 1 日

お茶の水女子大学庶務課

目 次

関係法令	1
学内規程	1
人事	3
学事	6
諸報	9
海外渡航	9
研修	10
健康診断	11
レクリエーション行事	11
新入生住所	11
職員の住所変更	11
日誌(抄)	11

関係法令

【政 令】

○恩給給与規則の一部を改正する政令（政令第203号、9月27日官報）

○勤労者財産形成促進法施行令の一部を改正する政令（政令第204号、9月27日官報）

【省 令】

○大学設置基準の一部を改正する省令（文部省令第24号、9月1日官報）

○文部省設置法施行規則の一部を改正する省令（文部省令第25号、10月1日官報）

○国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令（文部省令第26号、10月1日官報）

【規 則】

○人事院規則（職員の災害補償）の一部を改正する規則（人事院規則16-0、9月30日官報）

○人事院規則（災害を受けた職員の福祉施設）の一部を改正する規則（人事院規則16-3、9月30日官報）

○人事院規則（補償及び福祉施設の実施）の一部を改正する規則（人事院規則16-4、9月30日官報）

学 内 規 程

○お茶の水女子大学規則第8号

お茶の水女子大学私学研修員及び公立大学研修員規程の一部を改正する規程を次のように定める。

昭和58年10月26日

お茶の水女子大学長 藤 卷 正 生

お茶の水女子大学私学研修員及び公立大学
研修員規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学私学研修員及び公立大学研修員規程の一部を次のように改正する。

題名を次のように改める。

お茶の水女子大学私学研修員、専修学校研修員及び公立大学研修員規程

第1条に見出しとして「(趣旨)」を付し、同条中「私学研修員」の次に「専修学校研修員」を加え、「私立学校」の次に「専修学校」を加える。

第2条中「私立学校」の次に「専修学校」を加える。

第3条中「私学研修福祉会の申し出に基づき、」の次に「専修学校の場合は、専修学校教育振興会の申し出に基づき、」を加え、「当該学部教授会」を「当該学部教授会等」に改め、同条に次の1項を加える。

2 研修員志願者は、前項に規定する選考のための資料として、次の書類を当該部局に提出しなければならない。

一 研修員調書(別記様式)

二 健康診断書

第4条中「別記様式により文部省大学学術局長」を「文部省大学局長」に改める。

第6条を削り、第7条を第6条とし、第8条を第7条とし、第9条を次のように改める。

(研究料)

第8条 研修員の研究料は次のとおりとする。

区 分	実験(臨床を含む)	非 実 験
研究料の額	月額 18,000円	月額 7,200円

- 2 前項の研究料は3か月ごとに、3か月分に相当する額を、その当初の月に前納しなければならない。
- 3 研修員が研究を中止した場合は、既納の研究料は還付しない。

第10条を第9条とし、同条に見出しとして「(研究証明書)」を付する。

第11条を削る。

別記様式を次のように改める。

お茶の水女子大学()研修員調書

甲 面

ふりがな 氏 名	生年 月 日	年 月 日生
	性別	男・女
住 所	電話	
研究期間中の の居所	電話	
勤務先・住 所	電話	
所属・職名		
研究題目		
研究目的、 方法等		
指導教官		
研究期間	昭和 年 月 日から 昭和 年 月 日まで	
実験・非実 験の別	実験 ・ 非実験	

乙 面

	年	月	日	事 項
学				高等学校卒業
歴				
職				
歴				
備				
考				

附 則

この規程は、昭和58年10月26日から施行し、昭和58年4月1日から適用する。

○お茶の水女子大学規則第9号

お茶の水女子大学学則の一部を改正する規則を次のように定める。

昭和58年10月26日

お茶の水女子大学長 藤 卷 正 生

お茶の水女子大学学則の一部を改正する規則

お茶の水女子大学学則の一部を次のように改正する。第2章第6節の節名中「私学研修員、」の次に「専修学校研修員、」を加える。

第44条の2中「私立学校」の次に「専修学校」を加え「私学研修員」の次に「専修学校研修員」を加える。

第46条中「私学研修員、」の次に「専修学校研修員、」を加える。

附 則

この規程は、昭和58年10月26日から施行し、昭和58年4月1日から適用する。

○お茶の水女子大学規則第10号

お茶の水女子大学受託研究員規程の一部を改正する規程を次のように定める。

昭和58年10月26日

お茶の水女子大学長 藤 卷 正 生

お茶の水女子大学受託研究員規程の一部

を改正する規程

お茶の水女子大学受託研究員規程の一部を次のように改正する。

第9条第1項中「ただちに」を「指定する期日まで」に改め、同条第4項中「研究員1人につき12万円」を「別表のとおり」に改める。

附則の次に次の別表を加える。

別 表

種 類	研究期間	研究料
一般の受託研究員	1年以内	270,000円
農林水産省農林水産技術会議「農林水産省試験研究機関研究員の国内留学実施要領」による研究員	6ヵ月をこえ1年以内	270,000円
農林水産省農林水産技術会議「流動研究員制度実施要領」による研究員	6ヵ月以内	135,000円
農林水産省農林水産技術会議「流動研究員制度実施要領」による研究員	3ヵ月以内	67,500円
通産省工業技術院「工業技術院国立大学派遣研究員制度実施要領」による研究員	3ヵ月以内	67,500円
科学技術庁「国立試験研究		

機関に従事する研究者のための国内留学制度についてによる研究員	1年以内	270,000円
科学技術庁「国立試験研究機関に従事する研究補助者のための国内留学制度」による研究員	6ヵ月以内	135,000円

附 則

この規程は、昭和58年10月26日から施行し、昭和58年4月1日から適用する。

人 事

◎人事異動

発令年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
(採 用)			
58. 9. 1		佐藤完児郎	文部教官(附属高等学校教諭)に採用する
58.10. 1		渡辺真紀子	文部教官(助手文教育学部)に採用する
〃		三原みどり	文部技官(文教育学部教務職員)に採用する
(昇 任)			
58.10. 1	文部教官(東京大学助手文教育学部)	小風 秀雅	講師(文教育学部)に昇任させる
〃	文部技官(文教育学部教務職員)	安村 清美	文部教官助手(文教育学部)に昇任させる
58.10.16	文部教官(助教 授 家政学部)	本田 和子	教授(家政学部)に昇任させる
(転 任)			
58. 9.16	文部技官(宮崎医科大学業務部施設課)	石川 千一	施設課に転任させる
58.10. 1	文部事務官(文部事務官(入学主幹付入試一般教育係長))	浜田 光美	鹿児島大学医学部附属病院霧島分院総務係長に転任させる
(配置換)			
58.10. 1	文部事務官(附属学校部教育研究係長)	佐藤 利栄	入学主幹付入試一般教育係長に配置換する
〃	文部事務官(入学主幹付入試一般教育係長)	大室 昭	附属学校部教育研究係長に配置換する
(併 任)			
58.10. 1	文部事務官(厚生課厚生係長)	岩崎 哲昌	厚生課学長係長に併任する併任の期間は昭和59年3月31日までとする
〃	文部教官(教授 文教育学部)	尾田 幸雄	評議員に併任する併任の期間は昭和60年9月30日までとする
〃	〃	大口勇次郎	〃

発令年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
58.10. 1	文部教官(教授 文教育学部)	浅井 清	評議員に併任する併任の期間は昭和60年9月30日までとする
〃	文部教官(教授 理理学部)	立花 俊一	〃
〃	〃	塩田三千夫	〃
〃	〃	瀬野 信子	〃
〃	文部教官(教授 家政学部)	大塚 雅彦	〃
〃	〃	中島 利誠	〃
〃	〃	小倉 志祥	〃

(事務代理)

58. 9.15	文部教官(教授 理理学部)	太田 次郎	学長事務代理を命ずる
〃	〃	〃	理学部附属臨海実験所長事務代理を命ずる
58. 9.27	〃	〃	学長事務代理を免ずる

(辞 職)

58. 9.30	文部教官(助手 文教育学部)	村松 晶子	辞職を承認する
〃	〃	大澤 慶子	〃

(臨時的任用)

58. 9. 5		池瀨 朱美	文部教官(附属小学校教諭)に臨時的に任用する任期は昭和58年10月16日までとする
58. 9.17	文部教官(附属小学校教諭)	〃	臨時的任用を更新する任期は昭和58年11月16日までとする

◎学内委員

発令年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
58. 9. 1	助 教 授	須賀 哲夫	教育学科(心理)主任を命ずる
〃	教 授	春日 喬	教育学科(心理)主任を免ずる
〃	助 教 授	平野由紀子	女性文化資料館運営委員会委員を命ずる任期は昭和60年8月31日までとする
〃	〃	中村 弓子	〃
〃	教 授	伊藤 厚子	〃
〃	助 教 授	島田 淳子	〃
〃	〃	袖井 孝子	〃

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
58. 9.16	教 授	福田 博	保健管理センター運営委員会委員を命ずる 任期は昭和60年9月15日までとする
〃	講 師	渡辺 洋子	〃
58.10. 1	助 教 授	五味 文彦	学生委員会、学寮委員会、学生会館運営委員会委員を命ずる 任期は昭和59年9月30日までとする
〃	〃	石和 貞男	〃
〃	講 師	久保田紀久枝	〃
〃	教 授	青木 和夫	施設計画委員会委員を命ずる 任期は昭和60年9月30日までとする
〃	〃	浅海 重夫	〃
〃	助 教 授	石黒 節子	館山施設計画委員会委員を命ずる 任期は昭和60年9月30日までとする
〃	〃	倉田 忠男	ラジオアインストップ実験室運営委員会委員を命ずる 任期は昭和60年9月30日までとする

◎非常勤講師

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
(採用)			
58. 9. 1		山口 絢子	講師(家政学部)に採用する 任期は昭和58年9月30日までとする
〃		菊池美千世	講師(附属中学校)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする
58.10. 1		福井 憲彦	講師(文教育学部)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする
〃		山口 博一	〃
〃		松田 磐余	〃
〃		新井 正	〃
〃		高橋 均	〃
〃		楠原 彰	〃
〃		安西祐一郎	〃
〃		吉田 敬一	〃
〃		横倉 尚	〃
〃		吉田 博子	〃

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
58.10. 1		大津賀 信	講師(理学部)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする
〃		上坪 宏道	〃
〃		中原 勝儼	〃
〃		永松 一夫	〃
〃		中村 禎里	〃
〃		武久 慎	〃
〃		石川 孝夫	〃
〃		二宮 孝富	講師(家政学部)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする
〃		山口 静子	〃
〃		田村 照子	〃
〃		細井 雄介	〃
〃		成田 汀	〃
〃		岡堂 哲雄	〃
〃		馬場 紀子	〃
〃		安井 孝治	〃
〃		老川 寛	〃
〃		竹内 整一	〃
〃		堀内 捷三	〃
58.10.16		梅村 恵子	講師(文教育学部)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする
〃		本間 周子	〃
〃		小林 常利	講師(理学部)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする
(併任)			
58. 9. 1	文部教官 (筑波大学助教)	岡田 益吉	講師(理学部)に併任する 併任の期間は昭和58年9月30日までとする
〃	文部教官 (文教育学部助手)	田辺 雅子	講師(附属高等学校)に併任する 併任の期間は昭和59年3月31日までとする
58.10. 1	文部教官(国立歴史民俗博物館教授)	岡田 茂弘	講師(文教育学部)に併任する 併任の期間は昭和59年3月31日までとする

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
58. 9. 1	文部教官 (千葉大学助教)	吉田 伸之	講師(文教育学部)に併任する 併任の期間は昭和59年3月31日までとする
〃	文部教官 (筑波大学教授)	正井 泰夫	〃
〃	文部教官 (東京学芸大学教授)	斉藤 毅	〃
〃	文部教官 (筑波大学助教)	高倉 翔	〃
〃	文部教官 (一橋大学教授)	田中 克彦	〃
〃	文部教官 (国立教育研究所)	永野 重史	〃
〃	文部教官 (筑波大学教授)	桑野 豊	〃
〃	文部教官 (電気通信大学助教)	橋本 寿朗	〃
〃	文部教官 (東京学芸大学助教)	長沢 靖夫	〃
〃	文部教官 (埼玉大学助教)	山本 吉宣	〃
〃	文部教官 (附属高等学校教諭)	三浦 良子	〃
〃	文部教官 (附属中学校教諭)	佐藤 絢子	〃
〃	〃	清水 信行	〃
〃	文部教官 (附属小学校教諭)	生駒 正美	〃
〃	〃	本田 敏子	〃
〃	文部教官 (東京大学講師)	佐藤 和郎	講師(理学部)に併任する 併任の期間は昭和59年3月31日までとする
〃	文部教官 (電気通信大学教授)	野田 春彦	〃
〃	文部教官 (東京大学助手)	高野 敬	〃
〃	総理府技官 (放射線医学総合研究所)	佐渡 敏彦	講師(理学部)に併任する 併任の期間は昭和58年12月31日までとする
〃	文部教官 (東京大学助教)	見田 宗介	講師(家政学部)に併任する 併任の期間は昭和59年3月31日までとする
〃	文部教官 (名古屋大学教授)	古賀 正三	〃
〃	文部教官 (東京大学教授)	戸田 昭三	〃
〃	〃	養田 泰治	〃
〃	厚生技官 (国立栄養研究所)	宮崎 基嘉	講師(家政学部)に併任する 併任の期間は昭和58年12月31日までとする

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
58. 9. 1	文部教官 (東京工業大学助教)	上田 光宏	講師(家政学部)に併任する 併任の期間は昭和59年3月31日までとする
58.10.16	文部教官 (筑波大学教授)	成田十次郎	講師(文教育学部)に併任する 併任の期間は昭和59年3月31日までとする
〃	文部教官 (筑波大学助教)	高木 亮一	講師(理学部)に併任する 併任の期間は昭和59年3月31日までとする
〃	文部教官 (横浜国立大学教授)	佐藤 菊正	講師(理学部)に併任する 併任の期間は昭和58年12月31日までとする
〃	文部教官 (東京大学講師)	矢野 重信	講師(理学部)に併任する 併任の期間は昭和58年11月30日までとする

◎非常勤職員

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
(採用)			
58. 9. 1		横山 典子	事務補佐員(庶務課)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする
58.10. 1		高野 禎子	教務補佐員(文教育学部)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする
〃		市川 圭子	教務補佐員(理学部)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする
〃		伊藤まりか	教務補佐員(家政学部)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする
〃		酒井 美子	〃
58.10.16		五十嵐一英	事務補佐員(会計課)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする
〃		一家 勇	事務補佐員(入学主幹付)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする
〃		萩原あゆみ	事務補佐員(理学部)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする
〃		滝沢 公子	教務補佐員(理学部)に採用する 任期は昭和59年1月31日までとする
〃		浜口 紀恵	教務補佐員(家政学部)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする
〃		金久保靖子	〃
〃		猪口由紀子	事務補佐員(家政学部)に採用する 任期は昭和59年3月31日までとする

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
(任用更新)			
58.10.1	教務補佐員 (文教育学部)	桑原 和美	任用を更新する 任期は昭和59年3 月31日までとする
〃	〃	佐藤 節子	〃
〃	教務補佐員 (家政学部)	平井 良行	〃
〃	〃	安藤 洋子	〃
(辞職)			
58.8.31	見習員 (会計課)	宮下 忍	辞職を承認する

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
58.9.30	教務補佐員 (文教育学部)	宮内 寿子	辞職を承認する
〃	事務補佐員 (理学部)	西原久美子	〃
〃	教務補佐員 (理学部)	富田 裕子	〃
〃	教務補佐員 (家政学部)	村木 浩子	〃
〃	〃	吉田 史子	〃
58.10.31	〃	大塚 洋子	〃

学 事

○昭和59年度 お茶の水女子大学大学院人文科学研究科 (修士課程)

学 生 募 集 要 項

1. 専攻名および募集人員

専攻名	募集人員	専攻名	募集人員
哲 学 専 攻	8	英 文 学 専 攻	8
史学専攻 { 日本史学 東洋史学 西洋史学	8	教 育 学 専 攻	12
地 理 学 専 攻	6	舞踊教育学専攻 { 舞 踊 教 育 学 遊 戯 学 動 作 学 音 楽 学 演 奏 学	10
日 本 文 学 専 攻	8		
中 国 文 学 専 攻	4		

2. 修業年限 2年

3. 出願資格 下記該当の女子とする。

1. 大学を卒業した者、および昭和59年3月卒業見込の者
2. 学校教育法施行規則第70条の規定により、本学の大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

4. 出願手続

- (1) 入学願書 用紙は本学で交付
- (2) 卒業(または見込)証明書
- (3) 推薦書 指導教官または主任教官等により作成されたもの(形式随意)
- (4) 調査書 大学院修士課程入学選抜実施要項に基づく調査書。用紙は本学で交付
- (5) 健康診断書 用紙は本学で交付
- (6) 写真 上半身、出願前3か月以内に撮影したもの。大きさ名刺型。3枚、願書の指定欄にはる。
- (7) 返信用封筒 郵送の場合に限り、あて先を表記し、60円切手をはる。
- (8) 受験許可書 在職中のものは所属長の許可書を添えること。

前記書類を一括し、入学検定料(16,000円)を添え、所定の期日までに本学に提出のこと。ただし、郵送するときは書留郵便とし、検定料は郵便為替で、受取人欄に「お茶の水女子大学」と明記し、封筒に「大学院人文科学研究科入学願書」と朱書する。

5. 出願期日・願書受付場所

(1) 1月17日(火)から1月24日(火)までの間、休日を除き毎日午前9時から午後3時まで。ただし土曜日は午前11時30分まで。なお、郵送の場合は締切日が過ぎても昭和59年1月24日以前の消印のあるものに限り受け付ける。

(2) 受付場所 〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号 本学文教育学部事務部(地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅、有楽町線護国寺駅、又は都バス大塚二丁目下車)

6. 選考期日・時間割および試験場所

(1) 選考期日 昭和59年2月1日(水) 2日(木)

(2) 筆記試験・口述試験時間割

専攻名	2/1 筆記試験科目		2/2	備考
	外国語	専門科目 (13:00~15:00)	口述試験	
哲学専攻	哲学	10:00~11:30 英・独・仏・中国語の中から1か国語を選択する。 ただし、中国文学専攻志望者が中国語を、英文学専攻志望者が英語を選択することはできない。	10:00~	学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。
	倫理学			
	美学			
	社会哲学			
史学専攻	日本史学	日本史学	10:00~	学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。
	東洋史学	東洋史学		
	西洋史学	西洋史学		
地理学専攻		地理学	10:00~	註ハ、参照
日本文学専攻		国文学および国語学		
中国文学専攻		中国語学および中国文学		学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。
英文学専攻		英語・英語学および英米文学		学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。
教育学専攻		教育学・教育心理学のうちいずれか1科目選択、および論文		学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。
舞踊教育学専攻	舞踊教育学	舞踊学および論文 論文は志望する講座出題の課題を選択する。	10:00~	学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。
	遊戯学		舞踊実技を課することがある。	
	動作学			
	音楽学		10:00~ 演奏(任意の楽器または声、曲目は自由)を課することがある。	
	演奏学	西洋音楽史または日本音楽史	10:00~ 10分程度の演奏実技(曲目は自由)を課する。	

註 イ 上記の選択科目については出願の際届け出るものとする。

ロ 口述試験は主として志望する専攻又は学士論文について行う。

- ハ 地理学専攻の筆記試験には学士論文もしくは、これに準ずる研究の要旨記述を含ませることがある。
- ニ 学士論文(上記、提出を指示された専攻志望者のみ。)を提出できない事情のある者はその旨申し出ること。
- ホ 教育学専攻および舞踊教育学専攻(舞踊教育学、遊戯学、動作学)志望者に課す専門科目の論文は、志望する専攻に応じ課題のうちから選択し、論文(2,000字程度)を作成する。

(3) 試験場所 お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2丁目1番1号)

7. 検定料・入学料および授業料 検定料 16,000円 入学料 120,000円 授業料(年間) 216,000円

8. 合格者発表

昭和59年2月10日(金)12時頃、学内に氏名を掲示する。

合格通知書は、文教育学部事務室で交付する。都合により当日、来学できない合格者には、本人に郵送する。

9. 注意事項

- (1) 同一年度に本研究科内の2つ以上の専攻に出願することはできない。
- (2) 出願手続後はどんな事情があつても、書類の変更および検定料の払戻しの要求には応じない。
- (3) 合格、不合格に関する郵便、電信、電話等による問い合わせには一切応じない。

昭和58年12月

〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号 お茶の水女子大学 電話:東京(03)943-3151(大代表)

○昭和59年度 お茶の水女子大学大学院理学研究科修士課程学生第2次募集要項

1. 出願資格 下記該当の女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び昭和59年3月卒業見込の者
- (2) 文部大臣の指定した者
- (3) 外国の大学を卒業した者
- (4) 本学の大学院において、大学を卒業した者と同以上の学力があると認めたる者

2. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、学力検査(筆記試験・口述試験)、調査書等を総合して決定する。
- (2) 外国人学生の選抜は、本学大学院外国人学生規程による。

3. 募集人員及び学力検査

専攻名	募集人員	試験日時	試験科目
数 学 数 名		2月2日(木) 9:20~10:50	一般・基礎教育科目 (微積分、代数和幾何、位相空間)
		11:00~12:30	外国語 (英・独・仏・露のうちから2か、 国語を選択)
		13:30~15:30	専門科目(数学)
		16:30~	口述試験
		2月2日(木) 9:20~10:50	一般・基礎教育科目(物理学)

物 理 学 数 名		11:00~12:30	外国語 (英・独・仏・露のうちから2か、 国語を選択)
		13:30~15:30	専門科目(物理学)
		16:30~	口述試験
化 学 数 名		2月1日(水) 10:30~12:00	一般・基礎教育科目 (科学及び「物理学又は生物学」) ※
		13:00~16:00	専門科目(化学)
		2月2日(木) 10:00~12:00	外国語 (英・独・仏・露のうちから2か、 国語を選択)
		13:30~	口述試験
生 物 学 数 名		2月2日(木) 10:00~12:00	外国語 (英・独・仏・露のうちから2か、 国語を選択)
		13:00~16:00	専門科目(生物学)
		16:30~	口述試験

※物理学又は生物学のうち1科目を選択すること。
ただし、志望区分「化A」「化F」志望者は第1志望、第2志望を問わず「物理学」を選択すること。

4. 出願期間

昭和59年1月17日(火)から1月24日(火)まで。
郵送する場合は、必ず書留として「大学院入学願

- 書」と朱書し、1月24日(火)までに必着のこと。
5. 出願手続
- (1) 願書受付
- ア 場所 お茶の水女子大学理学部事務部
〒112 東京都文京区大塚2丁目1番
1号
電話：東京(03)943-3151(大代表)
- イ 時間 平日は午前9時から午後3時まで
土曜日は午前9時から11時30分まで

(2) 提出書類等

- ア 志願者名票、受験票及び履歴書(本学所定の用紙)
- イ 卒業(又は見込)証明書
- ウ 健康診断書(本学所定の用紙)
- エ 調査書(本学所定の用紙)
- オ 検定料 16,000円 現金又は郵便為替
- カ 受験承諾書 在職者及び他の大学の大学院在籍者は、所属長の承諾書を提出すること。
(様式随意)
- キ 返信用封筒 郵送の場合に限り、あて先を明記して、60円切手をはつた定形郵便物用封筒を同封する。

6. 合格者の発表

- (1) 2月9日(木)正午の予定。理学部1号館内公示板に掲示するとともに、合格通知書を送付する。
- (2) 入学手続関係書類は、昭和59年3月中旬に送付する。
7. 修了の条件及び学費
- (1) 修業年限は2年以上とする。
- (2) 総計30単位以上修得すること。
- (3) 課程の修了には前2項のほか、学位論文を提出して最終試験に合格することを必要とする。
- (4) 入学料 120,000円、授業料 年額 216,000円
8. その他
- (1) 出願後、書類の変更や検定料の払い戻しは行わない。
- (2) 出願書類等の請求は、あて先を明記し、70円切手をはつた定形郵便物用封筒(23.5cm×12cm)を同封すること。
- (3) 受験に関する問い合わせは、往復はがきによるか、返信用封筒(切手貼付)を同封し、必ず返信先を明記すること。
9. 大学所在地案内
- 都営バス 大塚2丁目停留所前
- 地下鉄 丸の内線 茗荷谷駅から徒歩 約5分
- 地下鉄 有楽町線 護国寺駅(音羽口)から徒歩 約5分

諸 報

○海外渡航

所属・職名	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	期 間	渡航種別
附属幼稚園 教 頭	堀 合 文 子	台 湾	台湾の幼稚園の先生方への音楽リズム指導講習会講師	58.9.1~ 58.9.5	研 修
理 学 部 助 教 授	前 田 侯 子	アメリカ合衆国 カナダ	第11回国際光化学会議への参加及びECO研究所、カリフォルニア大学での研究討論のため	58.8.16~ 58.9.9	〃
理 学 部 助 手	大 島 裕 子	アメリカ合衆国	第3回流れの可視化国際シンポジウム及び航空力学と航空音響学の国際シンポジウム出席	58.8.21~ 58.9.11	〃
理 学 部 講 師	芦 原 坦	連合王国 ドイツ民主共和国 ポーランド人民共 和国	植物の窒素代謝に関する研究講演及び討論のため	58.7.8~ 58.9.15	〃
学 長	藤 卷 正 生	アイルランド	第6回世界食品科学工学会議並びに国際食品科学工学連合役員会出席のため	58.9.15~ 58.9.26	出 張

家政学部 助教授	本 間 清 一	アイルランド スイス連邦 フランス共和国	第6回世界食品科学工学会議 における研究発表と資料収集	58.9.17～ 58.10.2	出張
家政学部 教授	浅 見 千鶴子	大韓民国	児童発達に関する研究動向	58.10.1～ 58.10.7	研修
文教育学部 助教授	内 藤 博 夫	連合王国 フランス共和国	第2回国際繊維工業地理学会 議出席及び研究資料収集	58.10.4～ 58.10.16	〃
家政学部 教授	中 島 利 誠	大韓民国	1983年日韓合同繊維研究発表 会に出席し“被服の熱・水分 移動特性”と題する研究を 発表するため	58.10.19～ 58.10.25	〃
文教育学部 教授	式 正 英	ザイール共和国 ベルギー王国	国際地理学連合作業部会「動 態環境地理学」シンポジウム 出席及び研究資料収集のため	58.10.8～ 58.10.26	〃

○研 修

名 称	実施期日	対 象 者	修 了 者	主 催
昭和58年度第1回事務電算化 研修	昭和58年 9月19日 ～9月22 日	コンピュータ入門コース修 了者のうちで、所属課長 事務長等の推薦により選 考する。	会計課管財係長 海老原葵 会計課用度係員 柴田正造 厚生課厚生係就職主任 菊池政樹 文教育学部学務係員 藤城健三 附属学校部教務係員 平松周二	お茶の水女 子大学
昭和58年度第1回関東C地区 国立学校事務電算化初級コー ス職員研修	昭和58年 9月27～ 30日	係長以下の職にある者で 各国立学校から推薦され 主催校が受講を認めた者	庶務課人事係員 松原利生 会計課用度係員 富山 弘	東京工業大 学
第18回関東甲信越地区国立大 学等会計事務職員研修会	昭和58年 10月4日 ～8日	現在会計事務に従事し、 かつ、1年以上会計事務 の経験を有する者	会計課用度係員 雨笠 均	文部省及び 一橋大学
第34回文部省会計事務特別研 修	昭和58年 9月27日 ～10月15 日	現在会計事務に従事し、 かつ、1年以上会計事務 の経験を有する者又はそ れに相当する者で、原則 として年齢25才以上30才 以下の者	会計課管財係員 村山正栄	文部省
第21回関東・甲信越地区国立 学校等係長研修	昭和58年 10月18日 ～21日	原則として次の各号に該 当者とする。 ア 係長又は係長相当の 職にある者 イ 年令50才以下の者 ウ 勤務成績が優秀な者	会計課司計係長 高野佳征 附属図書館参考係長 腰塚慶治	文部省及び 東京水産大 学、お茶の 水女子大学 の共催
昭和58年度関東C地区国立学 校事務電算化担当職員研修会	昭和58年 10月18日 ～27日	関東C地区国立学校事務 電算化初級コース職員研 修を修了した者又はこれ と同程度の知識を有する と認められる者	文教育学部学務係員 丹藤勝次	文部省及び 東京工業大 学

行政管理セミナー第15回プログラマー	昭和58年9月26日～10月28日	(1) 情報処理部門要員でプログラミング作業に従事する者 (2) 電子計算機に関する基礎的な知識を有する者(原則として行(-)5等級以下の者)	会計課用度係員 河合泰和	行政管理庁(行政管理局)
--------------------	-------------------	----------------------------------------------------------------------------	--------------	--------------

○健康診断

事 項	実 施 期 日	対 象 者	受診者数	実 施 場 所
昭和58年度第1回職員特別定期健康診断	昭和58年9月21日 昭和58年9月22日	タイピスト、守衛、自動車運転手	7人	本学保健管理センター
昭和58年度人間ドック	昭和58年6月1日 ～昭和58年9月30日	昭和58年4月1日現在で満35才以上の共済組合員(任意継続組合員を含む)	41	平塚胃腸クリニック

○レクリエーション行事

行 事 名	実 施 期 日	参加者数	実 施 場 所
昭和58年度大相撲東京場所観戦	9月11日～9月25日の土曜日、日曜日、祝日計7日	40人	東京蔵前国技館
昭和58年度はぜ釣	10月9日	13	東京湾羽田沖

○新任者住所

○職員の仕事変更

日 誌 (抄)

- 9月8日(木) 夏期休業終、関東甲信越地区国立大学庶務部課長会議(8日・9日:於信州大学)
- 9日(金) 入学者選抜方法研究委員会小委員会
- 10日(土) 公開講座、東京地区国公立大学連合文化会(美術部門)第2回学生委員会
- 12日(月) 将来構想検討委員会
- 13日(火) 部局長会議 百年史刊行委員会
- 14日(水) 大学院人間文化研究科会議、教務委員会、一般教育委員会
- 16日(金) 生活環境研究センター運営委員会、東京地区国公立大学厚生補導部課長会議(於東京都立大学)
- 17日(土) 公開講座
- 19日(月) 入学者選抜方法研究委員会
- 20日(火) 学生会館運営委員会、学寮委員会、学寮協議会、関東C地区事務電算化

	担当者会議 (20日・21日：於新潟大学)	26日 (水)	評議会、教務委員会、附属学校長選考委員会、大学体育祭
21日 (水)	研究科委員会 (理学・家政学)、各学部教授会、職員特別定期健康診断	27日 (木)	一般教育委員会、附属学校委員会、関東甲信越地区国立大学会計部課長会議 (27日・28日：於山梨大学)、国立22大学理学部長会議 (於学士会館)
22日 (木)	一般教育委員会、大学院理学研究科入試合格者発表	28日 (金)	国立大学理学部長会議 (於学士会館)
24日 (土)	前学期末試験 (24日～30日)、公開講座	29日 (土)	公開講座
27日 (火)	部局長会議		
28日 (水)	評議会、関東甲信越地区管理事務協議会 (28日・29日：於山梨大学)、教育実習担当者説明会・昭和58年度教育職員免許事務担当者説明会 (於東京都教育研究所)		
29日 (木)	国有財産実地監査 (関東財務局)		
30日 (金)	昭和58年9月卒業式、学位記授与式		
10月1日 (土)	秋期休業 (1日～7日) 公開講座		
3日 (月)	事務連絡会議、外国人留学生見学旅行 (3日～5日：奈良)		
4日 (火)	学生委員会、学生会館運営委員会、学寮委員会、附属学校教育研究委員会		
7日 (金)	人事関係事務処理状況調査		
8日 (土)	後学期授業開始、公開講座		
12日 (水)	大学院人間文化研究科会議、学生委員会、大学院家政学研究科第1次入試、附属学校長選考委員会		
13日 (木)	関東甲信越地区国立大学長会議 (於学士会館)		
15日 (土)	公開講座		
17日 (月)	関東甲信越地区国立学校等施設部課長会議 (17日・18日：於信州大学)		
18日 (火)	部局長会議、関東甲信越地区国立学校等係長研修 (18日～21日：於国立婦人教育会館)		
19日 (水)	学生部長候補者選挙、各研究科委員会、各学部教授会、国立大学保健管理センター所長会議 (於金沢)		
20日 (木)	関東甲信越地区国立大学事務局長会議 (20日・21日：於長岡)、第21回全国大学保健管理研究集会 (於金沢)		
22日 (土)	公開講座、女子大学連盟総会 (於ノートルダム清心女子大学)		
24日 (月)	学生委員会、学寮委員会、学寮協議会		
25日 (火)	部局長会議		